

アベクマ[®] 連絡カード

アベクマの治療を受けられた患者さんへ

- このカードは常に携帯してください。
- 医療機関を受診する際はこのカードを必ず提示し、アベクマの治療を受けたことを伝えてください。
- アベクマの投与後4週間は、アベクマの投与を受けた医療機関もしくは主治医から指定された病院をすぐに受診できるようにしてください。

お名前	
電話番号	

中面

医療関係者の方へ

この患者さんは多発性骨髄腫に対してアベクマの治療を受けています。

- アベクマはBCMA陽性細胞を標的とするキメラ抗原受容体(CAR)遺伝子改変自家T細胞療法(CAR T細胞療法)製品です。
- アベクマによる治療後は、注意を要する副作用として、サイトカイン放出症候群(血球貪食性リンパ組織球症を含む)、神経系事象、感染症、血球減少、低ガンマグロブリン血症、インフュージョンリアクション、腫瘍崩壊症候群があらわれることがあります。
- この患者さんは、ドナーとして血液、臓器、組織及び細胞を提供することはできません。
- アベクマの詳細は添付文書をご参照ください。
- 緊急時は、治療を行う前に、下記のアベクマを投与した医療機関の医師に連絡してください。

アベクマの治療に関する連絡先			
アベクマを投与した医療機関名			
医療機関の電話番号			
担当医師名			
アベクマの投与日	年	月	日
JOIN番号*			

※アベクマの治療を行う患者さんに自己の細胞由来製品を確実に投与するための識別番号です。

Bristol-Myers Squibb 株式会社 患者さん専用ダイヤル

TEL: 0120-363-959 (フリーダイヤル)

受付時間: 9:00~17:30 / 土日祝日および当社休日を除く

- 以下の症状があらわれた場合には、すぐに主治医に連絡してください。

サイトカイン放出症候群の症状

発熱、低血圧、脈が速くなる、悪寒、呼吸困難、頭痛、疲労、頭がくらくなる、吐き気

神経系事象の症状

混乱する、ろれつがまわらない、会話を理解しにくい、実際に存在しないものが見えたり聞こえたりする、時間や日付などがわからなくなる、意識の低下や過度の眠気、意識を失う、体のふるえ・力が入らない、記憶しにくい、体のバランスがとれない・歩きにくい、けいれん発作

- 献血や、移植のドナーとして臓器、組織及び細胞の提供をしないでください。

Bristol-Myers Squibb 株式会社

2022年1月作成
 ABE/2022/A03